

【報告事項 1】 2023 (令和五) 年度事業報告の件

1) 2023 年度国際会議開催

2023 年 12 月 6 日から 8 日の 3 日間、一般社団法人映像情報メディア学会 (ITE) と The Society for Information Display (SID) の共同主催で、朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンターにて第 30 回ディスプレイ国際ワークショップ (IDW ' 23) を開催した。本会議は、日本、韓国、台湾を持ち回りで開催される、3D システムとアプリケーションに関する国際会議 3DSA (The 14th International Conference on Three Dimensional Systems and Applications) と共催された。キーノート講演としては、東北大学 教授 黒田理人先生よりイメージングの最新技術と将来展望について、リンショーピング大学 教授 Feng Gao 先生より、ペロブスカイト LED の開発と機能性ディスプレイへの応用について、キヤノンメディカルシステムズ株式会社 中井宏章様より画像診断機器の最新技術動向について、BMW AG Michael Brachvogel 様より同社が進める最新の車載ディスプレイ技術についての御講演をいただいた。さらに、各種センサ実現のための周辺技術や新しいイメージセンシングに関する発表を行うトピカルセッションが新設され、活発な議論が行われた。また関連企画として「医療と撮像・映像技術」と題したスペシャルイベントが開催された。Poster Session は Oral Session と並行して行うことにより、部屋使用効率の向上を図った。実際に技術を体験できるデモセッション (I-DEMO) を拡大し、論文発表を行わない発表者からのデモも行われ、会期中毎日開催された。企業大学展示も Poster、I-DEMO と同じ会場で開催され盛況であった。初日の夜には、「ディスプレイ・ナイト」と題した参加者と講演者が懇親できる時間を設けた講演会が、華為技術日本株式会社の協賛として法人への寄付金を通じて行われた。OLED 材料の性質についてミネソタ大学教授 Russell J. Holmes 先生、Backplane 技術について延世大学教授 Hyun-Jae Kim 先生から御講演をいただいた。仮想空間には、昨年引き続きメタバース会場が設けられ、会期前日には、メタバースエキスパートによるセッションやパネルディスカッションを開催し、会期中には展示が行われた。

発表論文数は、キーノート講演を含め全体で 436 件 (昨年 341 件) と昨年より 95 件増加し、参加者数も 1,042 名 (昨年 892 名) と昨年より 150 名増加した。開催費用は、50,858,883 円 (決算値) であった。

2) 記念事業

・Kobayashi-Uchiike-Mikoshiha Prize

Prof.Yoichiro Nakanishi と Prof.Akiyoshi Mikami と Dr.Kalil Kälántär の 3 名の受賞者を選定、および IDW ' 23 オープニングでの表彰を行った。

・30 回記念事業

IDW の運営に携わった過去のコア委員を招待し、IDW30 回記念祝賀会を開催した。

3) 中長期的検討

2023 年度は、以下の通り中長期計画検討委員会を開催した。

11 月 18 日 :

IDW ' 25 三役候補の検討

IDW ' 25 会場候補の検討

電子帳簿保存法について

IDW は収益事業を行っている法人団体ではないことから、該当しないが、事務局委託先のバイリンガルグループ社での対応について報告を受けた。

3 月 26 日 :

IDW ' 25 開催地を広島に決定

4) 会員関連

i) 賛助会員

2023 年度における賛助会員数の推移は次の通り。

- ・ 2014 年度の賛助会員数：8 社
- ・ 2015 年度の賛助会員数：7 社
- ・ 2016 年度の賛助会員数：8 社
- ・ 2017 年度の賛助会員数：8 社
- ・ 2018 年度の賛助会員数：8 社
- ・ 2019 年度の賛助会員数：8 社
- ・ 2020 年度の賛助会員数：9 社
- ・ 2021 年度の賛助会員数：9 社
- ・ 2022 年度の賛助会員数：8 社
- ・ 2023 年度の賛助会員数：8 社

ii) 社員

2023 年度における社員数の推移は次の通り。

- ・ 2023 年 4 月での社員数：59 名
- ・ 2023 年度の増減：入社：1 名、退社：0 名
- ・ 2024 年 4 月 15 日現在の社員数：60 名

iii) 準社員

2023 年度における準社員数の推移は次の通り。

- ・ 2023 年 4 月での準社員数：5 名
- ・ 2023 年度の増減：増：0 名、減：0 名
- ・ 2024 年 4 月 15 日現在の準社員数：5 名

5) 財務関連

- ・ IDW '22
 - 2023 年度に決算が確定したため、23 に不足分を運営給付金として給付した。
- ・ IDW '23
 - 2024 年 3 月 31 日に中間決算を行い、業務を一般社団法人ディスプレイ国際ワークショップに継承した。
 - 寄付金
華為技術日本株式会社より、国際会議に用途を指定した寄付金 365 万円を受領した。
 - 国際会議開催事業運営給付金
当初 500 万円の助成を想定していたが、実行委員会による一般参加者増加や助成金により収入を獲得することができた。中間決算時点では赤字であるが、高野榮一光科学基金からの助成により収支均衡となり、運営給付金は不要となる見通しである。
 - 国際会議ナイトセッション開催費用
IDW '23 会期中に開催したナイトセッション「Display Night」の開催費用について、寄付金より 3,141,292 円を拠出した。
- ・ 30 回記念事業
IDW30 回記念祝賀会を開催した。開催経費は 834,801 円であった。

以上